

学校だより  
7月号

つなしま



令和5年6月30日  
横浜市立綱島小学校

【学校教育目標】 共に創り 共に歩み 共に輝く

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsunashima/>

## 身近な動植物に関わりながら、学びを深める

校長 金森孝子

毎年5月から6月にかけて、学校では、それぞれの学年で身近な動植物に関わる学習が展開されます。

2年生は、生活科「ぐんぐんそだて おいしいやさい」で夏野菜を育てています。ミニトマト、ナス、キュウリなど、苗を植え、水をやり、支柱を立て、世話をしながらその変化や成長に気付き、植物への親しみや大切にしようとする力を培っていきます。同じころ、「かんさつ名人になろう」という国語科の学習も進めています。飼っている生き物や育てている植物を丁寧に観察して記録する内容です。子どもたちは、自分が育てている野菜について、触ったり匂いをかいだりして気付いたことなども続けて記録していきます。

初めて理科としての学習が始まった3年生は、虫かごや飼育ケースを用いながら、身の回りの生物の成長を観察します。畑のキャベツのアオムシは、その後サナギ、チョウとなることなども学習します。絵本「はらぺこあおむし」(エリックカール絵・文)の世界を理科で観察しながら学んでいきます。朝、複数のモンシロチョウが学校の畑を飛ぶ様子は、風物詩の一つとなっています。また、6月19日には、校外学習として港北区の事業「水と緑の学校」に参加し、早淵川で川の生き物観察や魚取りを楽しみました。詳しくは、ホームページをご覧ください。

5年生は、6月5日に、学校の敷地内にある水田で田植え体験をしました。長年、地域の飯田さん、小池さん、吉原さんに関わっていただき、今年度も4月から、田起こし、しろかきなど、子どもたちが苗を植える前に多くの作業と準備をしてくださいました。田植えを終えた学校の水田はとても美しく、日々稲が育っていく様子を見ることができます。社会科の「農業と食料生産」の学習も並行して進めているので、生産に関わっている人々の努力や工夫について体験を通して考え学ぶことができます。



その他にも、5・6・7組は、いろいろな夏野菜、1年生は「アサガオ」4年生は「ヒョウタン」6年生は「ジャガイモ」を育てています。主に生活科や理科に関わるのですが、教科を横断的に総合的に、そして体験を通して学ぶことにより子どもたちの学びは深まり、より主体的で充実したものになります。今後、夏休み前の収穫、学習、夏休み中の世話など、学年ごとに計画を立てます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

6月8日(木)9日(金)に5年生の箱根宿泊体験学習が行われました。

学年目標の「一步一步 challenge・change」の達成を目指して、様々な活動に取り組みました。

初日は、彫刻の森美術館を活動班ごとに見学しました。みんなに声をかけながらまとまって見学したり遊んだりし、充実した時間を過ごしました。午後は大涌谷を見学し、いよいよ宿泊先のホテルへ。寄木造体験では、自分でデザインを考え、個性豊かな作品を仕上げていました。子どもたちも満足気な様子でした。キャンドルファイヤーでは、火の子が誓いの言葉を述べて大きなキャンドルに点火し、その火の周りでゲームをしたり踊ったりして盛り上がりました。

2日目は、台風の影響もあり風雨が強かったので、海賊船は運休となりましたが、体育館での学年レクを楽しんでいました。関所見学をし、昼食会場へ向かいましたが、かなりの濃霧で前が見えませんでした。しかし、子どもたちは、「これが霧って言うんだよね。こんなすごい霧、初めて見た!」と大興奮でした。箱根の自然を満喫した体験学習となりました。様々な体験を通して、成長した子どもたち。今後の活躍が楽しみです。(副校長 魚住 千尋)

